

学校だより



学校教育目標

- よく考え
進んで学ぶ子
- 心豊かな子
- ねばり強い子

那覇市立城北小学校

平成26年12月9日

第 8 号

校長 當山しのぶ

学ぶことの意味、学ぶ意義、学びがなぜ必要か、学びとは・・・

平成26年度もゴール間近！

城北っ子の頑張りは至る所で見るすることができます。学ぶことの意味、意義、必要性について理解したり、わかる城北っ子がぐんぐん増えてきています。

それは何で、わかるのでしょうか？

☆校長先生は提出した全児童のノート1つ1つを見せてもらいました。そして、励ましのコメントを書きました。そのことから、学ぶ意味、意義、必要性を1年なりに、6年生までの城北っ子が理解したり、わかってきたことを見ることができました。

☆城北っ子、保護者の皆さん、校長先生のコメントをぜひ読んで下さいね。

お家の人といっしょにがんばった秋休み号のノートがありました。御協力をありがとうございます！



秋休み号のノート。提出ありがとう！

■『はるやすみ号』（ノート）提出のわけ

- ①当該学年で身に付けた定着事項を進級学年で十分力を発揮できるようにさせたい。
 - ②苦手課題を『はるやすみ』に克服させたい。
- 4月、学級児童のスタートラインをそろえ、「わからない子」をださない学級づくり。
→はるやすみ号で取り組んだ内容について進級テストがあります。

■『あきやすみ号』（ノート）提出のわけ

- ①校長先生が全児童の学習状況を把握する。
- ②校長先生は、全児童（800名近く）のノートをしらべ、励ましのコメントを書きます。
- ③先生の教え方をふり返る。

【確認です！】

秋休み号ノート一冊を全部終わることではありません。1学期の復習か苦手克服がねらい。

【短い冬休み】

冬休み号ノートは、量ではなく質を重視。

■『ふゆやすみ号』（ノート）提出のわけ

- ①短い冬休みです。しっかり学習をする習慣を身に付けましょう。
- ②短い冬休みです。だからなお、自分のペースにあった学習をしましょう。
「たくさんする、いっぱいする量ではなく、質の学習（ていねいな学習）をしましょう」
- ③校長先生は、全児童（800名近く）のノートをしらべ、励ましのコメントを書きます。

子どもは負担ではないですか？

あき号のノート一枚一枚めくると、子どもたちの『一生懸命』さが伝わってきます！
頑張りにありがとうと言いたいです。 —校長—

6年生は、中学へ春休みにした課題ノートの提出が求められます。はる号は、『確かな学力』で一年間を乗り切るバロメータです。あき号は、先生方の教え方がこれでよかったのかをふり返り、現在の一人一人の『確かな学力』の保証と把握のためです。ノート1冊全部終らなければならないと間違ったことを伝えた先生は、修正します。たくさんするという量ではなく、自分のペースにあった学習に変えていきましょう。ふゆ号（3日間）で自分のペースにあった学習の仕方を見付け、校長先生に見せてくださいね。



命をかけて学校へ行く世界の子どもたち

学校へ行く意義は、なかなか容易に理解することは難しいです。学校が楽しい、友だちに会いたい、先生に会いたい。それが学校へ行く大きな理由、理解の一步ではないでしょうか。校長講話で、壊れた橋や溪谷、崖をつたい登校する世界中の子どもたちを紹介しました。「友だちに会いたい、先生に会いたい」「よいみらい」つくりのためと話すジャクソン君の話も紹介しました。「なぜ、学校へ行くのか」考えた2年生の作文を紹介します。

校長講話から

せりもてた学(い)せ学て
 たたンっ(い)ら校た学(い)校(い)
 (い)く^とた、^にと校へた
 と未んべそ^っ行こへとり
 、来をんう未^っろ行う、
 思のぬきで来て、くこが
 ャゆかよす^がベジのうけ
 てめしう。よんヤとしを
 いをてをわ^くきク、ての
 ます、^したなよソだ(い)ぼ
 かあて^しるうンれ^まった
 なた^はをくか^したり
 えし^じもと^しん^がたり
 てかヤ^っ言ては、。し
 見なクとっ(い)、聞なて

て話くしへ(い)り
 (い)の[「]行めま12
 るを^とはく(い)し月
 と聞[、]子^はたの校長
 、ぎ思いど、。3先生
 ないの^もっ校日
 わがま^ちた(い)長に
 れら^しを^ちの先、
 た[、]たか^ち生^せ相
 はえ。け^でをの^ん原
 し(い)校^てし^かお校
 をぞ長^学た^け話^朝真
 わ^う先^校。て^し会^菜
 たを生^へき^学の^が美
 っ見^の行(い)校^だあ

い)なと思いました。夢
 ん^会け^でたは^ては^アて
 な^い人^すい^友い^に行
 強^たな。思^だま^っす^く
 思^いく^けせ^いち^しみ^ん学
 い^心て^わが^では^た来^で校
 ま^を先^しい^学会。い^いも
 し^も生^いの^校い^せが^るあ
 つ^に道^子に^たか^よる
 て^会で^ど行^いい^くジ^そ
 い^いも^もっ^のな^ヤう
 あ^た、^たて^先子^るク^で
 ぐ^く友^ちい^生ど^ンす。
 て^だは^るに^もと^ン
 す、^ち、^そ会^た言^くケ
 ぞ^そに^きう^いち^っん^ニ

中わは学^キ子^のニ
 に^た今^に口^どは^き
 は^らに^行の^も、
 六^なも^くき^たっ
 十^けこ^そけ^ち印^校
 四^れわ^うん^での^ち
 キ^ばれ^でな^すち^や
 口^なそ^す道^{。か}う
 や^らう^をイ^け先
 四^だな^コ五^ンて^生
 百^いっ^口時^ド学^ガ
 キ^そり^ん間^で校^言
 口^うば^びが^はへ^陽
 歩^でし^アけ^行て^向
 い^すを^でて^くた

**楽しい学校つくり
 ～城北っ子・先生・保護者で～**

相手のいやがる言葉、傷つける言葉、マナー指導を学校は本気で取り組んでいます。速やかな対応を行い、子どもを守るための情報を学校へお寄せください。